

公表

## 児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	運動療育むーん		
○保護者評価実施期間	2025年2月15日		～ 2025年3月1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	2025年2月15日		～ 2025年3月1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月20日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門性の高い指導員が多数在籍しており、運動に関する知識や指導は充実している。	運動に対する知識や実績は他にないものだと思うので、過去の経験も踏まえてプログラムを作成している。	一人一人の強みを活かしてプログラム提供を行うことで、より幅を広げる。
2	保育士資格を保有する先生が在籍しており、プログラムを年齢や個性に応じて作成できている。	日々共有を行い、プログラムに変化をつけている。	職員全てにもっと保育の知識がつくように研修精度を上げていく。
3	運動に特化させることで運動能力の向上のサポートは充実している。	現役のアスリート、日本代表アスリートが在籍している。	この環境を保つために常にアスリートを雇用し続ける。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎がなく親御様に送り迎えをお願いしていること。	運動に特化していることもあり、療育時間はマンツーマンで50分としているためこのようになっている。	送迎については検討段階ではあるが、今のところ実施の予定はない。
2			
3			